

2023年1月31日

BP キャピタル株式会社

「のとSDGsファンド」による投資実行について

BP キャピタル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 松多 洋一郎）は、株式会社 QR インベストメント（本社：石川県金沢市、代表取締役 角地 裕司）と共同で設立した奥能登SDGs投資事業有限責任組合（以下「のとSDGsファンド」）より、株式会社オリゼ（本社：東京都目黒区、代表取締役：小泉 泰英）に投資実行したことをお知らせいたします。

当社は当ファンドを通じて、地域社会をはじめとした全てのステークホルダーの皆さまと共に、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

◆株式会社オリゼについて

日本最古のフードテック技術“発酵”を活用し、社会課題の解決を目指す D2C ブランド「フードコスメ ORYZAE（オリゼ）」を運営。コメを発酵させて作る米麴由来糖分「ORYZAE」を通じて“甘いしあわせ”を我慢せずに、ウェルビーイング・地球環境保護・農業課題解決など、自分も世界も幸せにすることを目指している。主力の「ORYZAE GRANOLA」は発売1年で30万食を突破した。

商号	株式会社オリゼ
代表取締役	小泉 泰英
本社所在地	東京都目黒区大橋2丁目6番12号 佐藤フラッツ 301
事業内容	麴由来の砂糖代替甘味料の製造・販売、麴の発酵を活用した食品ブランドの提供
ホームページ	株式会社オリゼ (agcl.site)

ORYZAE



◆能登地域への事業展開について

オリゼは、日本の農業がかかえるさまざまな課題を発酵のチカラで解決することができないか、というチャレンジからスタートしました。能登は、「能登の里山里海」として世界農業遺産にも認定されている、農業とは特に縁の深い土地です。耕作放棄地を復活・保全するために活動するみなさまとの連携により能登で作られたコメを活用した製品の開発や、地元清酒メーカーとの連携によるコラボレーションなど、地域の特徴を活かしながら新たな価値づくりを一緒に目指していきたいと考えています。

◆のとSDGsファンドについて

本ファンドでは、内閣府の『SDGs 未来都市』に選ばれた珠洲市をはじめとした能登地域を中心に地域の資産・資源を有効利活用した持続可能なビジネスの創出および SDGs に資する事業を行う企業を支援するモデルを創り、社会変革の実現と SDGs 達成に向けた最初の一歩を能登地域から踏み出すことを目指しております。

名称	奥能登 SDGs 投資事業有限責任組合（略称：のと SDGs ファンド）
設立	2021年7月26日
出資者	無限責任組合員（GP）：株式会社QR インベストメント BP キャピタル株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社北國銀行 アステナホールディングス株式会社 興能信用金庫 のと共栄信用金庫
存続期間	10年（但し、合意により2年間の延長可能）
投資対象	➤ 能登地域の SDGs 達成に資する事業を行う、日本国内に本店を置く非上場の株式会社 ➤ スタートアップ企業の場合、シード（プレシード含む）からレイターまで全ステージが対象
特長	➤ 持続的な環境・社会・経済を維持するために必要な事業を展開する企業の成長・承継・再生を支援 ➤ コンサルティングも含めた幅広い支援において北國銀行グループと連携 ➤ 現地企業等が必要とする知見や技術を有する様々な企業とのコラボレーション